



優良事例：安全な企業ブランドー女性に対する暴力や差別のない会社

カルメン・レデズマ（ペルー）

ペルーにおける女性に対する暴力 (VAW)

ペルーでは、女性に対する暴力 (VAW) は、公私において発生する恒久的な問題です。被害者の健康が損なわれる場合や、人間関係や業務上のパフォーマンスが悪化することで社会生活を営むことが難しくなる場合もあります。国家統計情報局 (INEI) によれば、ペルー人女性の 65.2% がパートナーからの精神的、肉体的、性的暴力を受けたことがあると回答しています。2018 年、ペルーでは 146 件の女性殺害事件が記録され、2019 年も 4 月までに、すでに 52 件が確認されています。

民間企業は、暴力や性差別の防止対策を推進するには絶好の場所です。なぜなら、そこには暴力を受けている女性労働者と、女性に対して暴力をふるう男性の双方がいるからです。会社では男女が一緒に働いていますが、女性に対する暴力の容認を正当化するような固定概念的男女関係が企業内でも起こっている可能性があります。暴力は社会に悪影響を与えますが、民間企業も例外ではありません。そのため、現在、企業の社会的責任 (CSR) の一環として、女性に対する暴力 (VAW) の防止活動に企業を参加させる取り組みが行われています。ある私立大学が、民間部門における親密なパートナー間の VAW の影響について科学学術的な研究を行い、次のように述べています。

- 行政の指導の下で公式に行われている小規模事業主のうち 71.2% が、少なくとも 1 回はパートナーから暴力を受けている。
- ひと月に 33.6% の女性がパートナーから暴行を受けており、その回数は月平均 9 回となっている。これにより毎年労働日の 47.3 日分が失われ、ビジネスに換算すると 9,130 ドルの損失となっている。

サン・マルティン・デ・ポーレス大学 (USMP) とドイツ国際協力公社 (GIZ) が実施した労働生産性における VAW の研究結果によれば、ペルーのビジネス部門における VAW の被害総額は年間 114 億 5,340 万ドルであり、これは国内総生産 (GDP) の 5.72% に相当します。

また同機関が実施した別の研究では、各小規模事業所の損失は、毎年平均 9,100 ドルに上っています。これは事業主が親密なパートナーから暴力を受けたためです。主に女性が代表者となっている小規模事業においては、その損失は毎年 2 百万ドル近くになります。

この調査の目的は、企業に対応策を助言するだけではなく、より大きなプラスの影響を与えることができる積極的な対策を立てるためでもありました。

「安全な会社賞ラベル:女性に対する暴力や差別のない会社」

民間企業の協力を得るため、女性と社会的弱者省(MIMP)は 2011 年に「安全な会社賞ラベル」を作成しました。これは、企業が CSR の一環として、ジェンダーに基づく暴力の防止へのモチベーションを高めることを目的としたものです。これまでに、2013 年、2015 年、2017 年と 3 回実施し、150 社以上が参加、35 社がそのラベルを受賞しています。公共部門や民間部門、中小企業や大企業など、すべての企業が参加でき、現在 300 社以上の企業が参加に関心を示しています。

このラベルを受賞することの利点は、職場の風紀や生産性が向上する、消費者のロイヤルティが高まる、企業イメージやブランド力が高まる、長期的なビジネスの持続可能性が得られる、社会的責任のある企業として市場での地位が得られるなどです。

受賞したい企業は以下の条件を満たす必要があります。

- A) **法規定の遵守**: 現行の労働法は、男女機会均等法、差別禁止法、女性に対する暴力の予防(例、職場におけるセクハラ予防と罰則)、産休と育児休暇、授乳場所と時間の確保、暴力被害者の権利、その他の規則とリンクしている。
- B) **組織文化**: 倫理綱領や、雇用、採用、昇進プロセスにおける機会平等を促進する人事方針、および性差別広告を排除するマーケティング方針等。
- C) **日常実践**: 女性の権利の普及、この問題に関する社内研修、ワークライフバランス戦略、賃金方針、暴力事件に対する指導や照会。
- D) **地域社会との協力**: 職員の家族、教育機関、および社会組織との VAW についての知識普及と予防活動。

第 1 回目の賞の授与から学んだ教訓に基づき、プロセスの合理化および、出産休暇やセクハラ事例に対する処罰等を含む自己評価基準についての修正をいくつか行いました。近年、ラベルの受賞は企業のブランド力として広く認識されてきており、第 4 回目は 2019 年 11 月に授与される予定です。

